

平成 24 年度活動助成 活動実績報告書

団体名	特定非営利活動法人ぴーす
活動テーマ	障害者の防災～自助力向上！ワークショップ開催事業

障がい児の母親向けワークショップ  
「障がい児だから必要なもの」をテーマにお互いの工夫・アイデア・不安などを話し合っています。



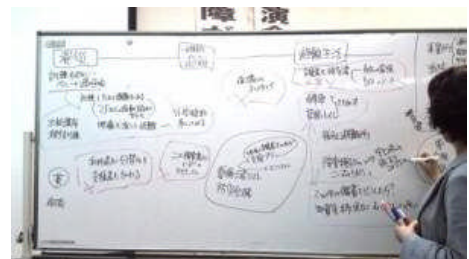
父親向けワークショップ  
この後の二次会では近所の避難先は？避難所でどうするか？ヨメが倒れたら？と盛り上がったそうです

少人数でのワークショップ

少人数の気心の知れた仲間だと深～い話ができる良さがあります。  
障がい児の避難生活ってどんな感じ？近所の人とのおつきあいは？助けられ上手になるために・・・など、いろんなテーマでじっくり話し合いができました。



ワークショップを進行するのはファシリテーターグループ内に1名ずつ、話を引き出したり記録したり。時々、全グループの意見を発表しあい、それを全体でまとめてみたり。ひとりの知識をみんなに広げる瞬間です。



当法人は平成20年度より「タイトル：障害児者の家族のための防災勉強会」という講演会を実施してきました。この講演は地元堺市だけでなく、近畿・東海・四国・中国地方からも依頼があり、講師派遣を行う中で「よくわかった」「ためになった」という声をいただいていた。しかし講演スタイルでは「聞いた話から、自分ひとりで考える・行う」ことになり、「なんとなくわかったけど、具体的には何をしたらいいのかわからない。だからしないまま」の人たちが多くいることがわかりました。そこで、平成23年度に当法人で「聞くだけの講演スタイル」ではなく「話し合うワークショップ形式」で防災を学べる『防災ワークショップ』のプログラムを開発し、グループワークを進行するファシリテーターの養成をしました。

ワークショップは、5名から実施可能。40名まで対応できるプログラムで、内容は、第一部が講師による基本講演『防災の一般的基本知識と障害者ならではの防災』で、全員でそれを聞いた後に、第二部として3～5名のグループにわかれ、テーマに沿ったグループトークを行うというものです。

平成24年度はいよいよワークショップを実施することになり、その実施をできるだけ広く・多く行うため、貴財団の助成をいただきました。

その結果、年間を通じ全25回、参加者述べ数440名にワークショップを届けることができました。